

取扱説明書		図番	0222K-01A
品名	FX-7B	CAD	PC-01/D/0200
対応ケーブル	7C-FB・S-7C-FB	発行年月日	2003年4月2日

① 準備

- ・ ナイフ (カッター)
- ・ ニッパー
- ・ 挿入治具 T-FX-7
- ・ スパナ (口幅 16mm)
- ・ トルクレンチ
 $16 \times 7.85 \text{N} \cdot \text{m} (80 \text{Kg} \cdot \text{cm})$
 $13 \times 1.96 \text{N} \cdot \text{m} (20 \text{Kg} \cdot \text{cm})$

コネクタ構造図

② 組立作業

- コネクタの締付金具を使用ケーブルに挿入します。
- ケーブルの外被をナイフで30mm切り取ります。
注意：編組に傷を付けないようにしてください。
- ケーブルの編組を折り返します。
- 専用工具(T-FX-7)にフェルールをセットします。
- フェルールをアルミ箔と編組の間に挿入します。
注意：折り返した編組にフェルールのツバが密着するまで挿入してください。
- ケーブル編組の折り返し部分を切断します。
- ナイフでケーブルのアルミ箔と絶縁体をフェルールの端面で切り取ります。
注意：中心導体に傷を付けないようにして下さい。
- T-FX-7の孔にケーブルの中心導体を入れ、突出した部分をニッパーで切断します。(中心導体寸法：9mm)
- ケーブルの中心導体を曲げないようにコネクタ本体にフェルールを挿入し、締付金具を手で仮締めします。
- 本体をスパナで固定し、 $7.85 \text{N} \cdot \text{m} (80 \text{kg} \cdot \text{cm})$ のトルクレンチで締付金具を確実に締付けます。

③ 取付

※ コネクタを機器に接続する場合は、規定のトルクレンチを使用して締付けて下さい。

標準締付トルク : $1.96 \text{N} \cdot \text{m} (20 \text{Kg} \cdot \text{cm})$